

平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	6	担当部課名称	都市部建築指導課
事務事業名	建築確認及び検査に関する業務		
見直しのタイトル	確認申請に係る報告書処理の効率化		
添付資料 有無	無		

1 現状における課題

- ・茅ヶ崎市では、建築物等の新築や増築等に対して確認申請に係る手続きが、年間約1400件程度ある。
- ・民間の指定確認検査機関に確認申請される場合は、申請された際に送付される通知、確認処分後の報告書など1つの物件に対して最低でも4回以上、民間機関から報告書などが送付されるため、処理にかかる業務量が非常に多い。
- ・これら民間機関が行う確認申請等に係る事務については、最終的に茅ヶ崎市に帰属することとなるため、単に送付書類の整理を行えばよいものではなく、これら全ての書類を基にデータ入力や必要なチェックと助言指導をもれなく行う必要がある重要な事務である。

2 業務改善の趣旨及び具体的内容

- 【趣旨】
通知される報告書等の各処理について、方法やポイントの整理見直しを行い、質を確保しつつ業務量の減少を図る。
- 【具体的内容】
現在行っているチェックや助言指導の中で簡素化できるものや、作業方法の見直し、建築行政共用データベースシステムの有効利用を行うことにより、データ入力や助言指導等の作業時間の短縮を図る。

3 改善により期待できる効果

- ・作業時間の削減による時間外勤務時間の縮減。
- ・確認審査業務に伴う事例相談や事例検討時間の確保。
- ・報告物件に対する現場調査時間の確保。
- ・民間機関からの報告書の整理及びデータベース入力の作業効率の向上。

4 実施スケジュール（概要）

6～	8月	報告書に対する処理事項と方法の整理
10～12月		改善可能な部分の洗い出しと改善事項の整理
1～	3月	改善方法による試行と検証

5 実施結果の振り返り

民間の指定確認検査課機関より郵送等で届く報告書を、システムへの入力に時間を取られている状況であったので、今年度から、報告書を電子配信にするよう指導を行った。結果、電子配信となりシステム入力作業が短縮された。

また、担当内で法解釈の事例の情報共有を積極的に行うことで、担当者の審査技術の向上が図られ、報告書のチェックや窓口等の助言指導について時間の短縮が図れた。これらの実施結果により、時間外勤務時間の縮減ができた。